

募金の協力方依頼してどうにか済ませよう

案

年

月

日

課長

平中各課(室)長
地方機関の長

沖縄義災救済会復興支援資金募金の
協力方依頼について

権記について総務課南方連絡事務局長より別紙の

と仰りの依頼があったので果敢^{こゝろ}とて
趣意^{こゝろ}を述べた

と仰るに、左の如く各機関に社協協力方を
お願いいたします。

お願いいたします。

なお、募金要領については全副知事会事務局長

からの通知を参考として本社要領により取

扱うこととして、左の如く御返承をうけたい。

記

火 日 系

一、募金は冬候（室、所）を取まとの上各戸を促
えて人車一課に命ずること。

二、募金の満つるはおおむね次の基準を考へする。

一級	七級	一。月以上
八級	二級	五。月以上
一三級以上		一。月以上

三、期間 昭和二十九年四月三十日までとする

（注）本募金はあくまで冬候迄の自由意思によるもの

（例）強制的なものではない。

本件取計の進捗に留意す。

昭和二十九年三月二十四日

秋田県教育委員会

秋田県知事 殿

田 秋
29.4.2
L-257

田 秋
29.3.30
L-257

田 秋
29.4.2
L-257

沖繩戦災校舎復興移転委員会募金の協力方依頼の件
 今次戦争による沖繩の禍は古今未曾有のものといわれ、犠牲と痛失
 た住民は十六万余に達し、たぐれた文化財の灰燼に帰せしもの多
 量に達し、おいては一木一草に至るまで砲弾に吹き飛ばされ、山容
 まる有様でありました。あらゆる産業施設、住宅の殆んど全部が焼
 わけても、校舎は完全な潰滅致しました。
 救済後理地關係者において、いち早く教育の再興に取りかかつたの
 ため、復旧は遅々としておこなわれ、未だにトタン葺、カヤ葺の、床の
 ない十間教室、且つ又、教具、教材等不備のまま、辛うじて教育を

ている金の盡き現況にありませぬ。アメリカの援助により、多少は校舎も
繕ちつゝありませぬが、終戦後八年余に於る今日、あらゆる努力を重ねて
いるにもかかわらずその復旧は未だに二八%にすぎません。
こゝに於いて、現地關係者は本土同胞の温い御援助により校舎の復興
を促す外に途なしと見え、昨年全額を行脚し寒糧を訴え、また一方
に於いては遊沢勲三氏を会長とする沖繩復興校舎復興後援会が結成され、
募金運動を開始したところ、賑々と募金が送られ、すでに三月二十三日
現在四千七百万円に達してある状況であります。
政府におきましても、さきに右後援会の懇めに応じ、國家公務員のお
分の援助につき補助致しましたところ、本年二月二十三日次官會議にお
いて、全國の國家公務員からの協力を要請することとなり、現在各方面
から御援助の御手紙が送られておる状況であります。
今回更に御紙のとおり全國都道府県の職員の方々からも同様御協力が
得けるよう回会より諭旨方依頼がありましたので、何卒別添の趣意に御
意向下さい、庶分の御援助を賜はるよう特に御高配方御願ひ致します。

別紙



昭和二十九年三月二十二日

東京都千代田区丸の内ビル七七七号室

沖繩復興校舎復興後援会

会長 沢 敬 三

総理府南支路事務局長 石井 通 則 殿

沖繩復興校舎復興後援会募金幹事方依頼の件

謹啓 春暖の候賑濟に御精勵の段大慶の至りに存じます。
さて、予て御配席を恭う致してあります首領募金の關しましては、各
に對する貴陣の御熱意により、全国各地の官庁職員の方々から絶大な
御同情を寄せられ、お蔭をもつて募金高は既に四千七百万円を突破致し
ました。これは全國半普及び官庁職員並びにその他有志の方々の温い御
同情と貴職の御援助によるもので關係者一同深く感謝致しております。

つきましては、右校舎復興への援助を今一歩進めるために、右半章、
官庁職員及びその他の有志の方々の外、更に各都道府県教育委員会等
職員の方々の御協力をも御願ひ申しあげたく存ぜられますので、甚だ恐
縮に存じますが右職員の方々からの応分の御援助が得らるゝよう、特別
なる御幹旋御高配を相煩わしたくこゝに右募金趣意書相添え御願ひ申し
上げます。



知行発才四号

昭和二十九年四月六日

全 国 知 事 会

事務局長 官 内 彌

総 務 部 長 殿

全 国 知 事 殿

沖繩戦災校舎復興後援資金募金の件
について

さきに沖繩戦災校舎復興後援会々長並びに総理府南方連絡事務局長
より各都道府県知事宛に依頼のありました標記の件については種々御
配意中のことゝは存じますが、今回更に同会々長より別紙の通り依頼
がありましたので、よろしくお取計らい下さいますようお願い申し上
げます。

県職員より募金については、全職員を把握して、
総務部人事課に委託して管理して頂くようお願ひします。
なお、さきに厚労省からも同趣意の依頼があり、
人事課に依頼済みであります。

の御援助が得られますよう特別なる御幹旋御高配を相煩わしたく、ここに右募金趣意書相添え切にお願いたします。

寫

知行発才五号

昭和二十九年四月十日

全国知事会

事務局長 宮内

弥

総務部長 殿
知事 殿
全国

沖繩戦災校舎復興後援資金募金の件について

去る四月五日付知行発才四号にて御連絡申し上げました標記募金につきましては種々御配意中のことと存じ上げますが、先般別紙の如く国家公務員に対する募金要領が総理府南方連絡事務局長より各省事務次官宛に通達されておりますので御参考までに御送付申し上げます。

29.4.15
第28号
入札

(別紙)

昭和二十九年二月二十五日

総理府南方連絡事務局

総理府南方連絡事務局長

各省事務次官 殿

沖繩戦災校舎復興後援募金要領

一、募金は各都府及び各出先機関において適宜これを取まとめ、沖繩戦災校舎復興後援会(東京都千代田区丸ビル七階七七号室 振替東京一四九六四三番)に払い込むものとする。

二、募金に当つてはおおむね次の基準を参考とする。

一級 一七級 一〇円以上

八級 一一二級 五〇円以上

一三級以上 一〇〇円以上

三期間 昭和二十九年四月三十日までとする。

(註) 本募金はあくまで各人の自由意思によるもので強制のものではない。

才二七二二号

昭和二十九年三月九日

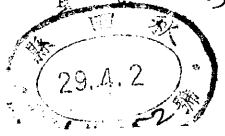
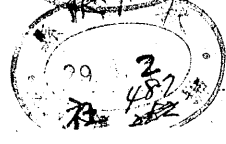
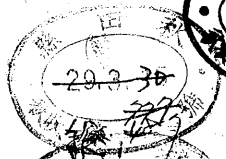
厚生大臣官房人事課長

各 部 局 長 殿

沖繩戦災校舎復興後援募金について

標記の件について総理府南方連絡事務局長から別紙のとおり依頼があつたので協力方よろしく願ひする。

なお、募金の払い込みについては本省内部部局及び引揚撥付等にもつてはこれを取りまとめ人事課へ、その他の機関にあつては沖繩戦災校舎復興後援会へ直接送金されたい。



別紙

総南連才八四号

昭和二十九年二月二十五日

総理府南方連絡事務局長

厚生事務次官 殿

沖繩戦災校舎復興後援募金に協力方御依頼の件

今次太平洋戦争において沖繩のあらゆる産業、文化、教育施設は灰じんに帰しましたが、ことに学校校舎は百%かい滅し、現地関係者は終戦後の復旧に努力しているにもかかわらず遅々としてすすまず、その復旧率はわずか三〇%で、いまだにかやぶきの雨漏校舎でかろうじて学業を続けている気の毒な学校が多いのであります。

沖繩戦災校舎復興後援会（会長没沢敬三）では昨年九月以来、全国民の心からの贈物による校舎復興資金を募金中であり、なお、官庁職員の応分の援助方についても依頼があつたので、総理府部内においては、別添沖繩戦災校舎復興後援会募金趣意書にのつとり、別紙要領により、有志が募金に協力することとなつたので、貴省においても有志の募金への協力方について何分の御配慮を得たく御依頼申し上げます。

別紙

沖繩戦災校舎復興後援募金要領

- 一 募金は各都府県及び各地方機関において適宜これを取りまとめ、沖繩戦災校舎復興後援会（東京都千代田区丸ビル七階七七七号室、振替東京一四九六四三番）に送付する。
- 二 募金に当つては、おおむね次の基準を参考とする。
 - 一級一七級 一〇円以上
 - 八級一十二級 五〇円以上
 - 一三級以上 一〇〇円以上
- 三 期間 昭和二十九年三月三十一日までとする。

注 本募金はあくまで各人の自由意志によるもので、強制的なものではない。

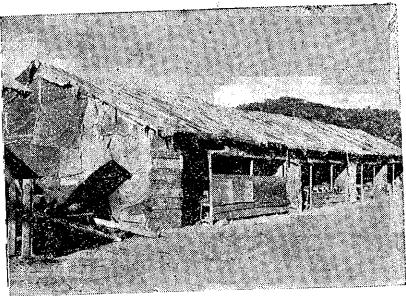
沖繩戰災校舍 復興後援會募金趣意書

今次大平洋戦争に於ける沖繩同胞の悲惨な犠牲は、われわれの想像に絶するものがあります。

無辜の住民十六萬余の尊い生命は、山野に屍をさらし巨額の財産は灰燼に歸し、有形無形の文化遺産はことごとく跡を絶ち、島の山野は形相を一變し、目をみはらしめるその惨害は原爆の廣島や長崎と共にまさに人類の悲劇であります。かくて終戦既に八星霜、爾來米軍の行政下にあつてその援助は受けつゝあるとは云いますものゝ、その傷痕が余りに深く、その被害が余りに大きいために、今日に至るも、なほ復興は遅々として進まない現状であります。沖繩の全住民は祖國復歸を念願とし、わけても教育の祖國直結を緊急の課題とし、その苦境に立ちながらも、教育の制度、内容を悉く本土と倣を一にして本土に取残されないようにあせつています。しかしながらいろいろの不利な教育條件にさいなまれ、その成果は遅々としてあからぬ状態であります。



(盛屋小学校)



わけても校舍は百%潰滅し、終戦以來露天や天幕教室、トタン葺、カヤ葺校舍のもとで辛うじて教育を続け、一方アメリカの援助によつて校舍も幾分建ちつゝはありますが、終戦後八年の今日、未だにその二二%にも達せず、多くの児童は壁板もなく、窓硝子も床板もない草葺の土間教室で風雨の支配に苦しみつゝ、學業を續けている氣の毒な状態であります。沖繩の現状からしていかに希望的に觀測しても、すべての校舍を復興するには、四十余億の金額を要し、これが建築には實に十五年以上の歳月を要すると當局は發表しているのです。しかも毎年のように襲い來る台風は、この粗末な校舍を倒潰し、これが建て直しには父兄もまた奔命に

りの依頼が
したから各
通知を参考
承せられた

渡れ、児童はそれを建て直すまで露天で授業をするか休業する以外處置ない状態でありま
す。この校舎の不備から来る教育的障礙は實に、い、難いものがあり、これが原因となつ
て教育のずれはますます大きくなるばかりで、教育諸条件中最大のなやみであります。

今、沖縄の全住民が何よりも強く望んでいるのは児童等のための校舎の復興であります
それにもかゝらず、校舎の復興は沖縄の現状では
荷にあまる課題であります。戦争のために何の罪も
ない子供等が今日までかくの如く校舎の不備のため
に苛酷の犠牲を受けていることは、誠に同情に堪え
ません。

私たちはこのような惨状を座視するに忍びないの
であります。【祖國のために】と叫びながら散つて行
つたけなげな生徒等のためにも、この悲惨な犠牲は
等しく八千万同胞の責務に於いて救済すべきものと
信じます。今こそ全國民の心からなる贈物によつて
一棟でも多く校舎を建て、やる同胞愛を發揮してや
るべき秋であると痛感致し、茲に戦災校舎の復興資金募集を企畫した次第であります。



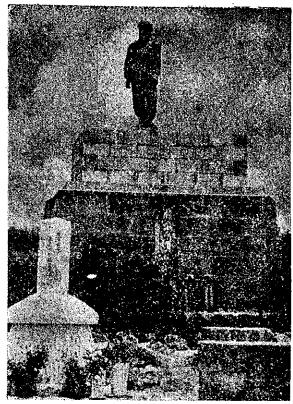
(久米島小學校)

これによつて一つには戦災校舎復興の資金に供し、二つには魂の故里を失うまいとする
子供等に對して希望と光明をあたえ安んじて學業にいそませたい親心からの企畫であり
ます。

以上の趣旨によつて別項の規程を設け目的の達成を期してありますので、何卒八千万同
胞の心からなる御賛同と御援助を切に懇請する次第であります。

昭和二十八年九月 日

(ひめゆりの塔)



岩まくら かくもあらん 安らかに
ねむれとを祈る 学びの友は

- 協 資 文 部 省
- 協 資 全 國 教 育 委 員 會 協 議 會
- 協 資 全 國 地 方 教 育 委 員 會 連 絡 事 務 局
- 東京都千代田区丸ビル七階七七七
- 沖繩戦災校舎復興後援會
- 振替口座東京一四九六四三番
- 會 長 瀧 澤 敬 三
- 副 會 長 高 嶺 明 達
- 副 會 長 有 光 次 郎
- 事務局長 伊 元 富 爾
- 沖繩戦災校舎復興促進期成會
- 會 長 屋 良 朝 苗

秋 収 人 第 二 五 一 号

昭 和 二 十 九 年 四 月 十 九 日

人 事 課

長

庁 中 各 課 (室) 長 (長) 殿
地 方 機 關 の 長 (長) 殿

沖繩戦災校舎復興後援資金募金に協力方
依頼につき

標記について総理府南方連絡事務局長より別紙のとりの依頼が
景としてこの趣意に賛同し協力することにしたから各

て教育のすれはます／＼大きくなるばかりで、教育諸條件中最大のなやみであります。今、沖繩の全住民が何よりも強く望んでいるのは児童等のための校舎の復興であります。それにもかゝらず、校舎の復興は沖繩の現状では荷にあまる課題であります。戦争のために何の罪もない子供等が今日までかくの如く校舎の不備のために苛酷の犠牲を受けていることは、誠に同情に堪えません。

私たちはこのような惨状を座視するに忍びないのではありません。『祖國のために』と叫びながら散つて行つたけなげな生徒等のためにも、この悲惨な犠牲は等しく八千万同胞の責務に於いて救済すべきものと信じます。今こそ全國民の心からなる贈物によつて一棟でも多く校舎を建て、やる同胞愛を發揮してやるべき秋であると痛感致し、茲に被災校舎の復興資金募集を企畫した次第であります。これによつて一つには被災校舎復興の資金に供し、二つには魂の故里を失うまいとする子供等に對して希望と光明をあたえ安んじて學業にいそませたい親心からの企畫であります。

以上の趣旨によつて別項の規程を設け目的の達成を期してありますので、何卒八千万同胞の心からなる御賛同と御援助を切に懇請する次第であります。

昭和二十八年九月 日
(ひめゆりの塔)



岩まくら かたくもあらん 安らかに
なむれとを祈る 学びの支は



(久米島小學校)

協賛 文部省
總理府南方連絡事務局

- 東京都千代田区丸の内七階七七
- 沖繩戰災校舎復興後援會
- 協賛 全國教育委員會協賛會
- 協賛 全國地方教育委員會連絡協賛會
- 會長 瀧澤敬三
- 副會長 高嶺明達
- 副會長 有光次郎
- 事務局長 伊元富爾
- 沖繩戰災校舎復興促進期成會
- 會長 屋良朝苗

秋収人第二五一号

昭和二十九年四月十九日

人事課 長

庁中各課 (室) 長 (長) 殿
地方機關の 長 (長) 殿

沖繩戰災校舎復興後援資金募金に協力方
依頼についで

標記について總理府南方連絡事務局長より別紙のとまりの依頼があつたので景としてもこの趣意に賛同し協力することにいたしましたから各職員に對し協力方よろしく願ひします。なお、募金要領については全國知事會事務局長からの通知を参考として左記要領により取扱うことといたしたいたから御諒承せられた

記

一 募金は各課（室、所）を取まとめの上名簿を添えて人課に届けること。

二 募金に当つてはかむね次の基準を参考とする。

一級 一七級 一〇円以上

八級 一一二級 五〇円以上

一三級以上 一〇〇円以上

三 期間 昭和二十九年四月三十日までとする。

（注） 本募金はあくまで各職員の自由意志によるもので強制のものではない。

總南連第一八一号

昭和二十九年三月二十四日

総理府南方連絡事務局長

秋 田 泉 知 事 殿

沖縄戦災校舎復興後援資金募金に協力方依頼の件

今次戦争による沖縄の戦禍は古今未曾有のものと云われ、犠牲となつた住民は十六万余に達し、すぐれた文化財の灰燼に帰せしもの数知れず激戦地においては一木一草に至るまで砲弾に吹き飛ばされ、山容全く改まる有様でありました。あらゆる産業施設、住宅の殆んど全部が焼失し、わけても学校校舎は完全に潰滅致しました。

終戦後現地関係者においては、いち早く教育の再興に取りかかつたのでありますが、被害が余りに大きかつたのと、行政上本土から分離され

たため、復旧は遅々としてすすまず、未だにトタン葺、カヤ葺の、床のない十間教室で、且つ又、教具、教材等不備のまゝ辛うじて教育を続けている気の毒な現況にあります。アメリカの援助により、多少は校舎も建ちつつありますが、終戦後八年余になる今日、あらゆる努力を重ねているにかかわらずその復旧は未だに二八%にすぎません。

これにおいて、現地関係者は本土同胞の温い御援助により校舎の復興を促進する外に途なしと考へ、昨年全国を行脚し実情を訴え、また一方においては没沢敬三氏を会長とする沖繩戦災校舎復興後援会が結成され募金運動を開始したところ、続々と義金を送られ、すでに三月二十三日現在四千七百万円に達してある状況であります。

政府におきましても、さきに右後援会の需めに応じ、国家公務員の応分の援助につき斡旋致しましたところ、本年二月二十三日次官會議において、全国の国家公務員からの協力を要請することとなり、現在各方面より続々寄附が行われている次第であります。

今回更に全国都道府県の職員の方々からも同様御協力が頂けるよう同会より幹旋方依頼がありましたので、各分の幹旋方を依頼する所です。

七

皇
上
控

人
事
課

日
記

沖繩戦災救済会復興後援資金募金名簿

月	日	収入 (預り金)	支出 (掛出)	残高	課(室)名	備考
4	23	六〇〇		六〇〇	用度課	四〇名
"	26	一九〇		七九〇	大嶺公共取業補導所	一一
"	"	一〇〇		八九〇	大嶺外四ヶ町村用水改良事務所	二
"	"	一〇〇		九九〇	織維試験場	五
"	"	一〇〇		一〇九〇	稲庭外三ヶ町村用水改良事務所	五
"	"	一〇〇		一二九〇	和田地区農業改良事務所	四
"	"	一〇〇		一三九〇	能谷地区	六
"	28	一〇〇		一四九〇	大嶺房政事務所	五
"	"	一〇〇		一五九〇	五嶺地区農業改良事務所	六
"	"	一〇〇		一六九〇	地方課	七
"	"	一〇〇		一七九〇	醸造試験場	八

（二七・一〇共計三三三）

和 日 県

(二十七) 共 三 月 印 刷 精

月	日	收	入	支	出	高	備	行
4	28		150			3289	課 (安、所) 石	20
"	"		280			3469	岩谷地区農業改良普及事務所	48
"	"		100			439	秋田保健所	13
"	"		130			539	秋田保健所	6
"	"		90			639	秋田保健所	6
"	"		139			729	秋田保健所	6
"	"		160			829	秋田保健所	6
5	1		120			929	秋田保健所	6
"	"		180			1029	秋田保健所	6
"	"		260			1129	秋田保健所	6
"	"		380			1229	秋田保健所	6
"	"		510			1329	秋田保健所	6
"	"		640			1429	秋田保健所	6
"	"		770			1529	秋田保健所	6
"	"		900			1629	秋田保健所	6
"	"		1030			1729	秋田保健所	6
"	"		1160			1829	秋田保健所	6
"	"		1290			1929	秋田保健所	6
"	"		1420			2029	秋田保健所	6
"	"		1550			2129	秋田保健所	6
"	"		1680			2229	秋田保健所	6
"	"		1810			2329	秋田保健所	6
"	"		1940			2429	秋田保健所	6
"	"		2070			2529	秋田保健所	6
"	"		2200			2629	秋田保健所	6
"	"		2330			2729	秋田保健所	6
"	"		2460			2829	秋田保健所	6
"	"		2590			2929	秋田保健所	6
"	"		2720			3029	秋田保健所	6
"	"		2850			3129	秋田保健所	6
"	"		2980			3229	秋田保健所	6
"	"		3110			3329	秋田保健所	6
"	"		3240			3429	秋田保健所	6
"	"		3370			3529	秋田保健所	6
"	"		3500			3629	秋田保健所	6
"	"		3630			3729	秋田保健所	6
"	"		3760			3829	秋田保健所	6
"	"		3890			3929	秋田保健所	6
"	"		4020			4029	秋田保健所	6
"	"		4150			4129	秋田保健所	6
"	"		4280			4229	秋田保健所	6
"	"		4410			4329	秋田保健所	6
"	"		4540			4429	秋田保健所	6
"	"		4670			4529	秋田保健所	6
"	"		4800			4629	秋田保健所	6
"	"		4930			4729	秋田保健所	6
"	"		5060			4829	秋田保健所	6
"	"		5190			4929	秋田保健所	6
"	"		5320			5029	秋田保健所	6
"	"		5450			5129	秋田保健所	6
"	"		5580			5229	秋田保健所	6
"	"		5710			5329	秋田保健所	6
"	"		5840			5429	秋田保健所	6
"	"		5970			5529	秋田保健所	6
"	"		6100			5629	秋田保健所	6
"	"		6230			5729	秋田保健所	6
"	"		6360			5829	秋田保健所	6
"	"		6490			5929	秋田保健所	6
"	"		6620			6029	秋田保健所	6
"	"		6750			6129	秋田保健所	6
"	"		6880			6229	秋田保健所	6
"	"		7010			6329	秋田保健所	6
"	"		7140			6429	秋田保健所	6
"	"		7270			6529	秋田保健所	6
"	"		7400			6629	秋田保健所	6
"	"		7530			6729	秋田保健所	6
"	"		7660			6829	秋田保健所	6
"	"		7790			6929	秋田保健所	6
"	"		7920			7029	秋田保健所	6
"	"		8050			7129	秋田保健所	6
"	"		8180			7229	秋田保健所	6
"	"		8310			7329	秋田保健所	6
"	"		8440			7429	秋田保健所	6
"	"		8570			7529	秋田保健所	6
"	"		8700			7629	秋田保健所	6
"	"		8830			7729	秋田保健所	6
"	"		8960			7829	秋田保健所	6
"	"		9090			7929	秋田保健所	6
"	"		9220			8029	秋田保健所	6
"	"		9350			8129	秋田保健所	6
"	"		9480			8229	秋田保健所	6
"	"		9610			8329	秋田保健所	6
"	"		9740			8429	秋田保健所	6
"	"		9870			8529	秋田保健所	6
"	"		10000			8629	秋田保健所	6

保 険 課



月日	收入	支出	残高	備考
5.8	九〇〇		四六八五	取業安定課
"	二七一〇		四八九五	林田地方事務所
"	八〇〇			天皇宮信習農場
"	一九〇			横手官政事務所
"	一一〇〇		四五三二	監理課
"	五三〇			鏡務課
5.7	一三〇			四小屋地区
"	一〇〇		四三三二	扇内地区農業改良普及事務所
"	六二〇			林政課
"	九三〇			林産課
"	一〇九〇			耕地課
5.6	五五〇		四〇二二	鉱務課
"	一三〇			新田地区普及改良事務所
5.4	五七〇		三九九二	総務課
"	一三〇			

備考

税 目 録

（五）五・一〇 共済三用印券

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

月	日	收入	支出	残高	備考
5	8	500		500	得(差)入
5	11	500		1000	水産課
5	14	300		1300	大船保健所
5	15		100	1200	平度地方事務所
5	21	400		1600	碓勝
5	22	900		2500	平度地区農協の普及事務所
5	26	600		3100	学政課
5	28	2000		5100	建築課
				6000	社会課
					山本地方事務所

昭和十一年六月一日

係

（二七）一〇共助三月印刷物

田
29.5.3
敬

謹啓 初夏の候貴台におかれは公務益々御精勵ヲ致大賀に存じます
梅て沖繩戦災校舎復興資金募金につきましては格別の御協力を賜
お蔭様で募金額は五月二十六日現在において五千九百七十余円（元募
人負一十万人）に達し募金関係者一同深く感謝致して居ります。

我々と致しましては六月末日の募金締切期日まで最後の奴力をつづけ沖繩の
児童生徒に対する同胞愛を最大限に結集したいと念じてをります。
既に中興官庁におさましては、次官会議ヲ申合せに於て御援助をいただいて居
ります。また都道府県に對しては、総理府南方連絡事務局長、全國知事会
事務局長並に当後援会から、知事及び、教育長宛御依頼狀を發送し現
在までのところ別項のような御援助をいただいて居る次第であります。更に
関係各方面の全面的御協力を仰ぎ度く存じます。一紙の御援助を賜り
ますよう御配慮を下さるべく重ねて御願ひ申し上げます。

昭和二十九年五月二十八日

秋田
知事 池田徳治 殿

沖繩戦災校舎復興後援会
会長 沢 敬 三
副会長 高 嶺 明 彦

敬 白

昭和二十九年五月二十六日現在

有光次郎

官公署募金成績表

中央官署		都道府県		
省別	個所数	金額	都道府県別	金額
総理府	95	1,408,976.-	神奈川県	90,332.-
法務省	267	680,078.-	広島県	2,702.-
外務省	1	43,420.-	徳島県	29,509.-
大蔵省	279	935,142.-	北海道	99,905.-
文部省	4	57,950.-	大阪府	96,676.-
厚生省	212	488,685.-	福岡県	2,462.-
農林省	1	6,000.-	兵庫県	151,794.-
通産省	8	169,829.-	滋賀県	48,616.-
運輸省	35	203,391.-	山形県	8,780.-
郵政省	1,155	1,416,585.-	青森県	2,140.-
労働省	1	19,602.-	栃木県	60,795.-
国鉄	0	0	埼玉県	47,806.-
興業公社	14	18,848.-	群馬県	84,512.-
電気公社	283	782,203.-	佐賀県	16,855.-
建設省	7	133,300.-		
小計	2,354	6,364,009.-	14	742,884.-
合計		2,368	金額	7,106,893.-

一九五四年九月八日

沖繩戦災被害復興後援のため全国的募金運動が展開されました。一千万以上の篤志の方々から六千三百二十五万四千多額の寄附金があつまりました。

この心こもった浄財に対し現地の私達は非常に感銘を受けました。私はこの運動に献身努力して下さった澁沢先生、有光先生、高嶺先生をはじめ実行委員その他の役員や事務局の皆様、また協賛援助して下さいました文部省、総理府南方連絡事務局、全国教育委員会連絡協議会、全国各地教育委員会連絡協議会、全国の経理事務局、小校長会等の各団体並びに一千万人以上の寄附御協力者の方々に現地側を代表して深甚の敬意と深甚の謝意を表す次第であります。

なお私はこの運動に寄せて下さった皆様の御厚意は沖繩の青少年の上に色々の意味で非常に貴重な美を結ぶものと信じ一入深い感激をおぼえるものであります。す。なお浄財は本日澁沢会長からたしかに拝受致しました。

油繩の子供等は此の「温いプレゼント」に接し、よし今はその環境を異にして居てますます皆様と密接に精神的に強く結びついて希望と喜びに胸ふくらませ、故々として勉強を続けていくことであらう。

因に皆様に御同情いただいた戦災被害も現地アメリカ当局の御援助により最近は着々復興の途についており、完全復興の日も近きにあることを特に御知らせいたし、ここに重ねてお礼を申し上げます。

感謝の御挨拶

沖繩戦災被害復興後援会 屋良朝苗 復興促進期成会々長



(1)

収 支 決 算 書

(自昭和二十八年三月五日
至昭和二十九年八月三十一日)

●収入の部	64,630,456.08
(内訳) 寄附金	63,124,015.08
収入利息	1,506,441.00
●支出の部	5,417,099.50
(内訳) 給料	1,238,666.00
雑給	354,984.00
旅費	792,456.00
交通費	305,944.00
備品費	20,533.00
消耗品費	68,007.50
印刷費	629,461.00
通信費	849,557.00
会議費	105,290.00
宣伝費	482,856.00
支払利息	12,175.00
家賃	211,900.00
電話料	52,560.00
雑費	43,046.00
振替手数料	249,664.00
●差引残高	59,213,356.58

(2) 贈 呈 額

58,835,356.^円58

贈呈額は昭和二十九年八月二十日現在收支残額 59,213,356円 から残務処理
費引当額 378,000円 を差引たるものとする。

(3) 財 産 目 録 (昭和二十九年八月二十日現在)

1. 銀 行 預 金 58,909,336.^円08

(内 訳)

定期預金 57,000,000.00
通知預金 1,000,000.00
普通預金 909,336.58

2. 経 過 利 息 304,020.00

合 計 59,213,356.58

沖縄戦災校舎復興募金 総額並に内訳表

(自昭和二十八年三月五日
至昭和二十九年八月二十日)

寄附金総額 63,124,015.08^円

内訳

学校関係の分(別表一) 48,770,747.08^円

官公署職員の分(別表二) 10,763,277.00

一般の分 2,872,591.00

海外の分 717,400.00